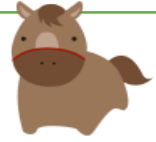
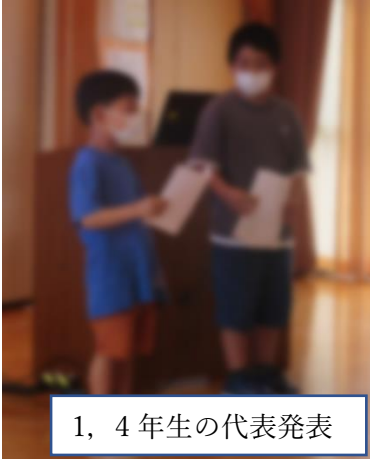


# 開田小学校だより



令和4年9月2日（金） 文責：北原 健吉

8月23日（火） 二学期始業式



1, 4年生の代表発表



校長先生のお話「自分の考えをもち、発信しましょう」

2学期始業式が行われました。1, 4年生の代表児童は、2学期がんばりたいことを発表しました。「目を見て、元気に挨拶したい」「運動会とマラソン大会を頑張りたい」「1学期の社会科見学で、浄水場で、話を聞くのに集中していてメモが取れなかったので、長野見学の時には、大事なことをメモしてきたい」「掃除の場所が広いので、雑巾がけの時間を少しでも長くできるように移動時間を短くしたい」。具体的な目標が、達成されることをしっかり見ていきますね。

校長先生からは、2学期およそ150日間の間に、体（すべての細胞）が新しく生まれ変わっていく、それに伴って心も大きく変わる。「自分で考えをもち、発信できる人」になって欲しいとの願いを話されました。たくさん遊び、たくさん学び、友だちや地域の方と対話する活動を大切にしてください。2学期より5年生に転入生を迎えました。困っていたら助けてください。一日も早く開田小学校が大好きになるようみなさんよろしくお願いします。

8月25日（木） 合同避難訓練



小学生、園児、社協の方が体育館に避難しました。



末川研修センターまでしっかり歩きました。

開田小、開田子ども園、社協開田支所合同の避難訓練を実施しました。雨のため、避難場所は体育館となりました。園児の皆さんはとても静かに避難できました。

校長先生からは、日本は災害の多い国であること、地震や台風、最近では大雨の被害も頻発していること。南木曾の土砂災害のことを例に上げられました。学校としても防災に強い組織になっていく必要があり、そのために地域ぐるみの防災について対話を始めなければならないこと。同時に学校にいるみんなが一人一人自分の命を守れる人間になっていくことの重要性を話されました。

体育館への避難後、今年初めて末川が氾濫したとの想定で、末川研修センターまで歩いて避難しました。反省会では、「あの道は、実際大雨の時、危ないから別の道の方がいいのでは・・・」といった意見が児童から出されたそうです。校長先生のお話から、自分で考えるきっかけになったようです。実際道を歩いてみて、垂直避難（校内の最上階へ逃げる）か移動かの判断についてや、持ち物について避難方法について考える機会になりました。

## 8月29日（月） ストーリーテリング

藤谷さんの語りに引き込まれます。



今回は、1，2年生向け「ならなし」のお話し

ストーリーテリングが行われました。病気になった母親に「ならなし」を食べさせようと3人の兄弟が山に梨を取りに行くものでした。藤谷さんの優しい語り口に、物語の世界に浸ることができました。

## 8月30日（火） 自由研究発表会



- ・クワガタとカブトムシを戦わせ、勝負の様子をビデオに撮りました。(1年男子)
- ・夏休みの楽しい思い出(プール遊び)を粘土工作にしました。(2年女子)
- ・カブトムシとクワガタのジオラマ標本をつくりました。(3年男子)
- ・飼っている木曾馬「桃と僕の1日」を比べ、どうしてこんなに食べるのか調べました。(4年男子)
- ・高宮商店の1日をしらべました。(4年女子)
- ・アリのきらいなおいを探しました。ショウガを餌の周りにおくとアリが来ません。(5年男子)
- ・いろんな縄跳びの技に挑戦し、できるようになった技は…(6年男子)

これらは、8月30日（火）の5時間目に、行われた夏休みの自由研究の一部を紹介したものです。縦割り班ごとの発表会を行いました。どの子も「自分がやりたいこと」「自分

が好きなこと」を研究の材料にして模造紙や画用紙等にまとめて発表しました。

保護者の方や学童の指導員の方、開田高原コミュニティースクールの方もたくさん応援にかけつけてくださり、質問や感想もたくさんいただきました。参観者一人一人が子どもにメッセージ付きの賞をつけていただきました。今年初めての試みでしたが、子どもたちの自分の研究に対する誇らしい姿をみて、やってよかったと思いました。

## 校長室だより 令和4年8月 林 久美

### 校長室ラボ始めました。

校長室には、3つの看板が掲げてあります。ひとつは、「よろず相談所」。誰でもいつでも、大人も子供も遊びに来てほしくて掲げましたが、相談所としての営業は芳しくありません。(パズルやけん玉などのおもちゃを置いて、子供をおびき寄せていますが…。) ひとつは、「開田小応援団事務局」。CS(コミュニティースクール)のボランティアさんや地域の皆さん、いつでもお茶を飲みに来てください。校長不在の際には自由に学校を見て回ってください。地域の人が集まる学校を目指します。



「大好き木曾馬！」(迷惑そう?)

そして、「校長室ラボ」です。ラボとは、ラボラトリー、研究室のこと。ちなみに私は理科の教師。校長兼研究室長です。開田高原にきて5か月。開田高原の自然の素晴らしさと言ったら…、語りつくせません(何度も語っていますが…)。日々、季節が過ぎるのがもったいないと感じるくらい、自然は多様性を維持したまま、様変わりしていきます。それをこの目にしっかりとおさめようと、毎朝、黄色い車が怪しげな所を行き来するのをご覧になっている方もいるかもしれません。怪しい者ではありません。ぜひ、声をかけてください。

開田高原の自然を知れば知るほど、この素晴らしさは木曾馬を育てながら、ここに暮らした人々の歴史や文化と深い深いかわりがあることを知りました。そして、こうした貴重な文化を学び、そのすばらしさを後世に伝えようと頑張ってくださいしている方々がたくさんいることを知りました。『木曾馬の里』の中川さん始め木曾馬保存会の皆さん。『ニゴと草かっぱの会』の田澤さんを始めとした草地の動植物の調査や保存を続けている方々。素晴らしい自然資源をより多くの人の心身の健康に役立てようと活動している『おんたけ健康ラボ』の皆さんです。木村さんなど、地域起こし協力隊の方も多く、それぞれの場所で活躍してくださっています。他にも、開田高原のすばらしさを毎日実感し、ここに住む子どもたちや開田以外の人たちに伝えたいと思っている方々が沢山いることでしょう。

校長室ラボでは、こうしたたくさんの方々のお力をお借りして、開田高原のすばらしさを子どもたちと共に研究するためのラボラトリーです。時々異臭がしたり、しょっちゅうイモリやバッタが逃げ出すこと、研究に来る子ども達が授業に遅れることが課題ではありますが、地域の皆さんのお力をお借りし、研究を進めて参りたいと思います。ぜひ、校長室ラボに遊びにきてください。

# 感謝

○夏休み中の出来事ですが、PTA 主催によるいわなつかみ大会を無事行うことができました。また引き続いて行われた、「開田小応援団駄菓子屋横丁」では、開田高原コミュニティースクール、開田小学校応援団の皆さんや子ども園の園児の皆さんも参加していただき開田小学校体育館がお祭りの賑わいでした。楽しい夏の思い出がみんなに出来たと思います。本当にありがとうございました。



イワナどこにいるかな？



イワナ取れたよ。



横丁の飾りつけもばっちり



園児の皆さんのお神輿

賑やかに、みんな楽しそう



夏の縁日みたいなヨーヨー釣り